



ST67W611M1xxx

ST初のWi-Fi 6ネットワーク コプロセッサ・モジュール



IoT設計の開発期間短縮と柔軟性拡大に貢献するマルチプロトコル・モジュールが クラウドとのセキュアな直接のコネクティビティを実現

STマイクロエレクトロニクスは、Qualcomm Technologies社との戦略的提携による初の製品Wi-Fi 6モジュールを発表しました。

ST67W611M1xxxモジュールは、RF技術に関する専門知識が不要で、複数のプロトコルを活用してIoT機器を開発する機会をSTM32開発者の方に提供します。

この新しいモジュールは、開発者にとって画期的なソリューションとなるでしょう。コネクティビティ、セキュリティ、設計のスケーラビリティを向上すると同時に、STM32エコシステムとの完全な統合により、シームレスな設計体験を実現します。

特徴と利点

ワイヤレス・コネクティビティ

- Wi-Fi 6 / Bluetooth® Low Energy 5.4対応
- 最大出力+20dBm
- MCS9、HE20 / HE40
- Bluetooth® Low Energy 2Mbps

統合

- 4MBのFlashメモリとOTA機能内蔵
- 40MHz水晶振動子内蔵
- アンテナ内蔵

高度なハードウェア・セキュリティ

- ハードウェア暗号化アクセラレーション搭載
- セキュリティ・サービス（セキュア・ブート、セキュア・デバッグなど）
- PSA認証レベル1

IoTデバイス用の 信頼性の高いソリューション

すぐに使用可能

この自己完結型で認証取得済みのWi-Fi 6 / Bluetooth® Low Energyネットワーク・コプロセッサ・ブレイン・モジュールは、次世代の産業用およびコンスマ用IoT機器に対応し、ソフトウェア開発を簡略化しつつ、ライフサイクルのリスクを最小限に抑えます。ATコマンド・セットにより、Wi-Fi 6とBluetooth Low Energyコミッショニングのサポートがあらかじめ組み込まれており、シンプルなホスト・マイコンまたはMPUによりシリアル・インターフェース経由での制御が可能です。

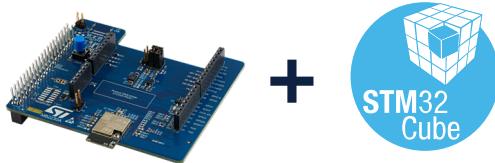
ホスト・デバイスとしてSTM32マイコンおよびMPUシリーズに完全に対応するため、すでにSTM32プラットフォームをご利用のお客様にとっては、製品化までの期間を短縮するソリューションとなります。

作業とコストを最適化

本モジュールは認証取得済みのため電波認証に準拠できるほか、Wi-FiとBluetooth Low Energyの両方をサポートします。また、ハードウェアのスケーラビリティとソフトウェア設計、ホスト機能に基づく柔軟性を提供し、Flashメモリも内蔵しているため、ホストデバイスの制約を軽減します。RFの専門知識を必要としない認証取得済みモジュールを使用することで、設計サイ

クルを短縮し、認証に関するコストを節約できるため、製品化までの期間を短縮して費用対効果を最大限に高められます。

さらに、STM32開発エコシステムとのシームレスな統合も活用できます。



設計過程を簡略化するSTM32Cube開発エコシステム

ソフトウェア

モジュールのソフトウェア・サポートには、以下が含まれます。

- ホストSTM32マイコンまたはMPU向けのコード生成用STM32CubeMX
- STM32CubeMXでサポートされるX-CUBE-ST67W61パッケージと、専用のWi-FiおよびBluetooth® Low Energyのドライバとサンプル
- ホスト・マイコンまたはMPU開発のためのSTM32CubeIDE

また、STおよびQualcomm Technologies社のツールセットにより、高度なQoL機能を活用して包括的な開発・デバッグを行えます。

ハードウェア

X-NUCLEO-67W611M1のNucleo拡張ボードを使用して試作開発を始めることができるため、堅牢な統合開発環境をご利用いただけます。

世界中のIoTアプリケーションに向けたSTのワイヤレス・ソリューション

